

1. 平成26年度予算と保健事業を承認 :9千万円の経常赤字 介護保険料率 3月から改定1.4%

2月24日に開催された健保組合会で平成26年度予算と保健事業が承認されました。平成26年度一般収支予算は約9千万円の経常赤字です。(25年度は9千万円前後の黒字見込)被保険者数減による保険料収入減の一方、医療高度化等による医療費増、高齢者医療拠出金の増(前年比1億3千万円増)等で26年度は約9千万円の赤字見込です。(平成25年度は8割健保が赤字予算)なお平成25年度は保険給付減等もあり、現時点では約9千万円の黒字見込です。

3月1日から介護料率が1.4%(現行1.2%)に改定されます。平成25年3月速報で案内の通り、急激な上昇を抑えるための段階的改定です。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。新保険料は4月度給与からです。標準報酬月額34万円で月額3400円の増、事業主負担も同じ。一般保険料率の改定はありません。健保・厚保・介護保険料・標準報酬一覧表は別添の通りです。

2. 平成26年度保健事業

「もっとからだを・・・」千葉県HPで紹介

平成26(2014)年度の主な保健事業は下記の通りです。

- ①人間ドック補助(健診日30歳～)、定期健診時のがん検診補助(35歳～、夜勤、子宮頸がん20歳～)、②ジェネリック差額通知、③歯科健診、④柔整レセプト確認、⑤特定健診・指導、⑥メンタルヘルス、⑦「もっとからだを動かそう」、⑧年間医療費通知、⑨保養施設利用補助、⑩冊子(がんや疾病予防、対象者に育児雑誌、任意継続者向け健康誌)配布等



平成25年12月から「もっとからだを動かそう」が健康づくり先進事業例として千葉県HPで紹介されています。:「健康千葉21」 <http://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/kenkouchiba21/>
保険給付減はあまり病院に行かずに済んだ結果です。みなさんの生活改善、運動継続の成果です。適度な運動の継続で免疫力をアップ! 「自分の健康は自分で守る。」

3. 第5回ジェネリック(後発薬)差額通知 150名

1月に8~10月薬代がジェネリックと500円以上差のある150名へ差額通知が送付されました。調剤薬局では薬効が同等で経済的なジェネリックを希望しましょう。当健保薬剤費は年間1億円を超えています。ジェネリックで3~4千万円程度の節約も可能です。

4. 平成25年度(1~12月)医療費通知:3月送付

3月末に平成25年1~12月分の医療費通知が送付されます。実績の確認をお願いします。医療費の減少は健康の証でもあります。健康は自分、家族、会社、みんなの願いです。

5. 人間ドック補助申請・1月末〆 :最大5万円

平成26年度人間ドック健保補助申請(健診日30歳～)は、平成27年1月末締切です。健診結果に領収書、問診表等を添付して1月末迄に健保(人事部社会保険G)へ申請ください。

以上